

国際交流サロン

8月の「世界の民話と昔話」は「日本の『わらと炭と豆』」です。さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

国 日本
民話／昔話 わらと炭と豆
ストーリー

昔むかし、わらと炭と豆で旅に出かけました。途中で橋がかかっていない川のところに来ました。三人が困っていると、わらが橋になるからと横たわりました。最初に炭がわたりましたが、残り火が燃え出してわらに火が移り、一緒に川に落ちてしまいました。それを見ていた豆は、おかしくて笑い転がっているうちに、プツツンと体のはじけてしまいました。豆が痛くて泣いていると、ちょうどお針子が通りかかって、針と糸を出して縫い合わせてくれました。でも、あわてていたの、黒い糸で縫ってしまいました。そのときから、豆には黒い筋ができたということです。

話が伝わった経緯

遠野の昔話など岩手から熊本まで伝わっている昔話で、物事の由来譚です。しかし、まったく同じ話がグリム童話（1812年初版）にもあります。年代を見ると日本の方が古いのですが、天竺の話の再話と考えられます。

【問合せ】一般社団法人 笠間市国際交流協会
Tel.090-2761-8711（木村 美枝子）

..... 9月の国際交流情報

お月見会国際交流

日時：9月27日（日）午後4時から
会場：笠間稲荷神社 月読神社

中秋の名月の9月27日、笠間稲荷神社では、境内に祀られている月読神社の中秋祭が斎行されます。参加を希望される外国人には英語でご案内します。雅楽の演奏と共に日本の伝統文化を楽しんでみてはいかがでしょうか。参加希望者は午後4時までに笠間稲荷神社絵馬殿前にお集まりください。

☆9月の日本語教室の開講日

9月5日（土）・12日（土）・19日（土）
（友部公民館 午前10時～）



◀てんぐの森のクラフト
サーカスにてアラブの
コーヒーセレモニー

市長コラム

笠間の若きアスリートたち

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、国家の一大イベントとして準備が進んでいます。全国の自治体も出場国のキャンプ地誘致や外国人観光客の増加を見込んで、地方独自の取組みに知恵を絞っています。

また、地元から一人でも多くの五輪選手を輩出するため、選手の強化事業がスタートしている都道府県もあるようです。

本市においても、20代前後の将来有望な選手がいます。その中でも、陸上の飯島さん（高校3）、柔道の石川さん（高校3）は全国大会で活躍。ゴルフの金澤さん（大学2）、畑岡さん（高校2）は、国内の大会だけでなく国際大会でも好成績を収めており、更なる成長が期待されています。



▲ 笠間市長杯スナッグゴルフ大会開会式

ゴルフの2人は小学生の時に出会ったスナッグゴルフがきっかけになって、競技を始めたそうです。世界で通用する選手を育てるには、種目を問わず低年齢からの育成が大切であると思います。

5年後に本市からオリンピックに出場する選手が生まれることを期待し、皆さんと一緒に応援していきたいです。

笠間市長
山口伸樹